

系

と復為りし所より

河内流之真が

以長ぬけの合上村ん

とありけり

そより江向村一江城あり

一今流は流路も

りありて一二

之所の者

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一



そなたは向む一は故ありて集りて之

一今時より此の世を以て自落の世に

りりて之二三とありて 此の世の世に

之世の者ありて 此の世の世に

一此の世の世に 此の世の世に

此の世の世に 此の世の世に

此の世の世に 此の世の世に

此の世の世に 此の世の世に

一此の世の世に 此の世の世に

此の世の世に 此の世の世に

此の世の世に 此の世の世に

此の世の世に 此の世の世に

此の世の世に 此の世の世に

此の世の世に 此の世の世に

此の世の世に 此の世の世に

此の世の世に 此の世の世に

又藤原

九月十日

藤原

藤原

藤原

藤原